

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年1月12日(2012.1.12)

【公開番号】特開2010-46454(P2010-46454A)

【公開日】平成22年3月4日(2010.3.4)

【年通号数】公開・登録公報2010-009

【出願番号】特願2008-237090(P2008-237090)

【国際特許分類】

A 4 7 G 29/00 (2006.01)

D 0 6 F 57/12 (2006.01)

【F I】

A 4 7 G 29/00 C

D 0 6 F 57/12 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月20日(2011.10.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

フック支持台の外周に凹部と凸部が互いにはめ込むことができる形状を有した凹部と凸部を任意の数だけ設けたところを特徴とする物掛け。

【請求項 2】

(イ)フック支持台の外周に凹部と凸部が互いにはめ込むことができる形状を有した凹部と凸部を任意の数だけ設ける。

(ロ)凹部に、フック支持台の側面に近い方に巾を狭くした、遠い方にそれより巾を広くした形状を設ける。そして凸部に、フック支持台の側面に近い方に巾を狭くした、遠い方にそれより巾を広くした形状を設け、凹部と凸部が互いに水平方向には抜けないようにした物掛け。

【請求項 3】

(イ)フック支持台の外周に凹部と凸部が互いにはめ込むことができる形状を有した凹部と凸部を任意の数だけ設ける。

(ロ)凹部に、フック支持台の側面に近い方に巾を狭くした、遠い方にそれより巾を広くした形状を設ける。そして凸部に、フック支持台の側面に近い方に巾を狭くした、遠い方にそれより巾を広くした形状を設け、凹部と凸部が互いに水平方向には抜けないようにした物掛け。

(ハ)凹部、凸部それぞれの上面、下面をフック支持台の前面から背面に向けて下方に傾斜させた物掛け。

【請求項 4】

(イ)フック支持台の外周に凹部と凸部が互いにはめ込むことができる形状を有した凹部と凸部を任意の数だけ設ける。

(ロ)凹部、凸部それぞれの上面、下面をフック支持台の前面から背面に向けて下方に傾斜させた物掛け。

【請求項 5】

凸部の外壁、凹部の内壁にそれぞれいくつかの凹部、凸部を設けて互いにはめ込むことができる請求項 1、請求項 2、請求項 3、請求項 4 の物掛け。

【請求項 6】

請求項 1、請求項 2、請求項 3、請求項 4、請求項 5 の物掛けからフック本体を取り外したフック支持台。